電子調達システム

受注者様向けPC・ブラウザ設定手順書

目次

1. はじめに 2
2. 設定の順序 3
3. 事前検証ツールの実行 4
3.1. 事前検証ツールの入手 4
3.2. 事前検証ツールの実行 4
3.3. 事前検証ツール実行結果の確認 6
3.4. 事前検証ツール実行の再実行 11
4. ブラウザのインストール 12
4.1. Microsoft Edge のインストール 12
4.2. Google Chrome のインストール 12
5. ブラウザの設定 13
5.1. Microsoft Edge の設定 13
5.2. Google Chrome の設定 21
6. 電子入札補助アプリのインストール／バージョンアップ 29
7. 電子入札補助アプリの設定 30

1. はじめに

本書は、電子調達システムの利用に向けた準備・設定を行うマニュアルです。
一般的な機能や操作手順については製品マニュアルをご参照ください。

各画面イメージは、実際に表示される画面内容と異なることがございますので、ご了承ください。

略称について

- Edge ： Microsoft Edge の略です。
- Chrome ： Google Chrome の略です。

登録商標について

- SuperCALS は、富士通 Japan 株式会社の登録商標です。
- Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google Chrome は、米国 Google LLC の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の会社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

2. 設定の順序

電子調達システムを利用する際は、Microsoft Edge 又は Google Chrome を利用ください。

以下の順序で各種設定とテストを行います。

No.	設定内容	説明
1	事前検証ツールの実行	事前検証ツールを実行し、設定が必要な項目を確認します。
2	ブラウザのインストール	事前検証ツールにて、ブラウザのインストールが必要となった場合に実施します。
3	ブラウザの設定	事前検証ツールにて、ブラウザの設定が要確認だった場合に実施します。 設定項目 ・キャッシュクリア ・ポップアップ許可
4	電子入札補助アプリのインストール／バージョンアップ	電子入札補助アプリがインストールされていない場合、インストールを実施します。 また、事前検証ツールにて、電子入札補助アプリのバージョンアップが必要となった場合に実施します。
5	電子入札補助アプリの設定	事前検証ツールにて、電子入札補助アプリの設定が要確認だった場合に実施します。

3. 事前検証ツールの実行

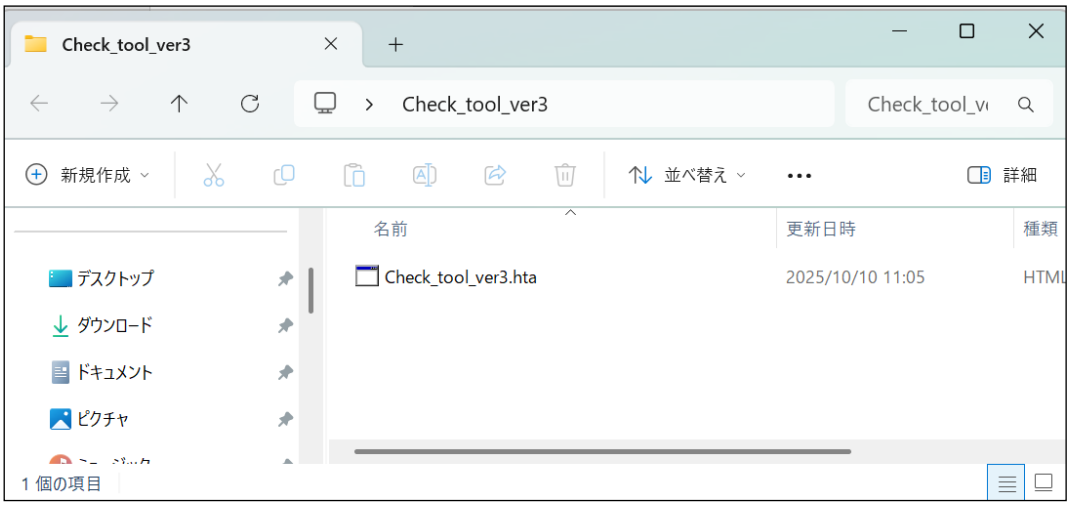
3.1. 事前検証ツールの入手

事前検証ツールは電子調達システム 入札参加者ポータルの左メニューにある『利用準備マニュアル（はじめての方はこちら） 3.1. 事前検証ツールの入手』より取得ください。

3.2. 事前検証ツールの実行

① 『3.1. 事前検証ツールの入手』でダウンロードした ZIP ファイルを解凍します。

② 解凍されたフォルダを開き、事前検証ツール『Check_tool_ver3.hta』をダブルクリックし、実行します。



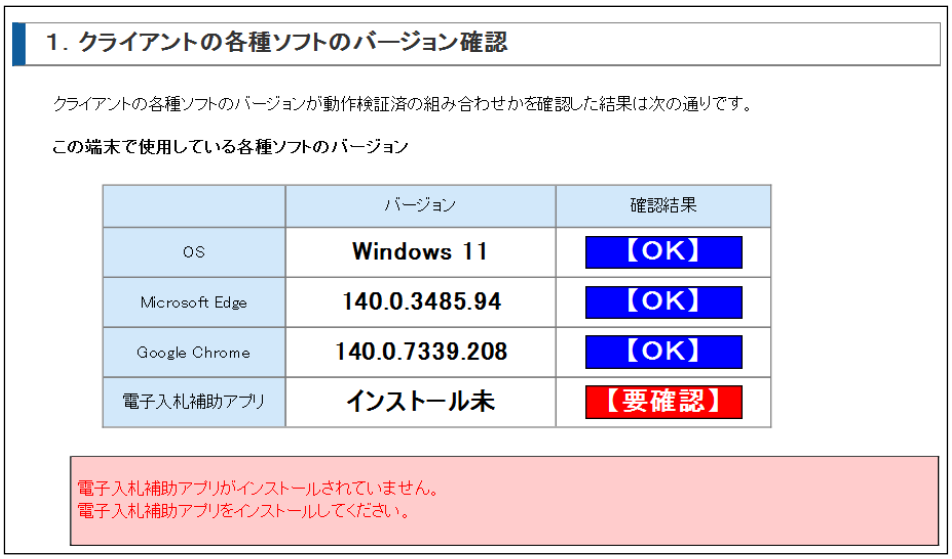
③ ツールが実行されると、以下のような画面が表示されます。
結果の見方は次項にて解説します。



3.3. 事前検証ツール実行結果の確認

① クライアントの各種ソフトのバージョン確認

お使いのパソコン環境の情報が表示されます。以下、表示例です。



1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認

クライアントの各種ソフトのバージョンが動作検証済の組み合わせかを確認した結果は次の通りです。

この端末で使用している各種ソフトのバージョン

	バージョン	確認結果
OS	Windows 11	【OK】
Microsoft Edge	140.0.3485.94	【OK】
Google Chrome	140.0.7339.208	【OK】
電子入札補助アプリ	インストール未	【要確認】

電子入札補助アプリがインストールされていません。
電子入札補助アプリをインストールしてください。

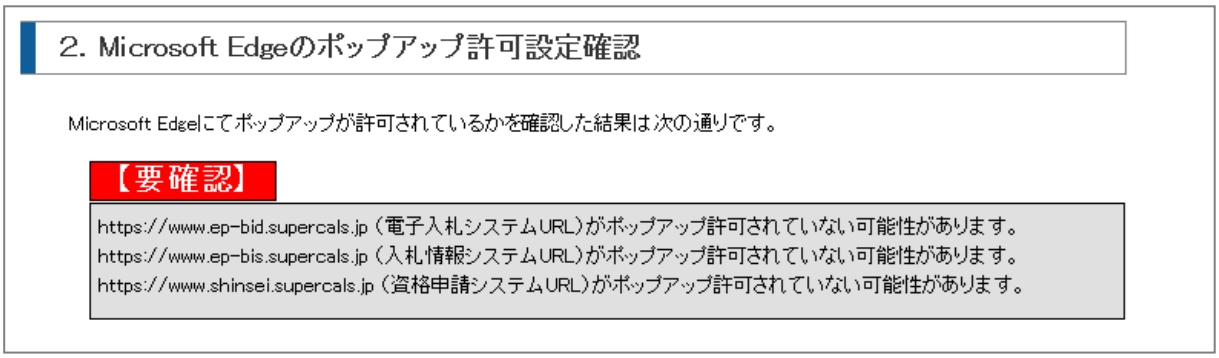
項目	内容
OS	ご利用の端末の OS バージョンが表示されます。 Windows 11 をご利用ください。
Microsoft Edge	Edge がインストールされている場合、バージョンが表示されます。 最新のバージョンをご利用ください。
Google Chrome	Chrome がインストールされている場合、バージョンが表示されます。 最新のバージョンをご利用ください。
電子入札補助アプリ	電子入札補助アプリのバージョンが表示されます。

※Microsoft Edge と Google Chrome の**両方**が『インストール未』の場合、『4. ブラウザのインストール』にて、いずれかをインストールしてください。

② Microsoft Edge のポップアップ許可設定確認

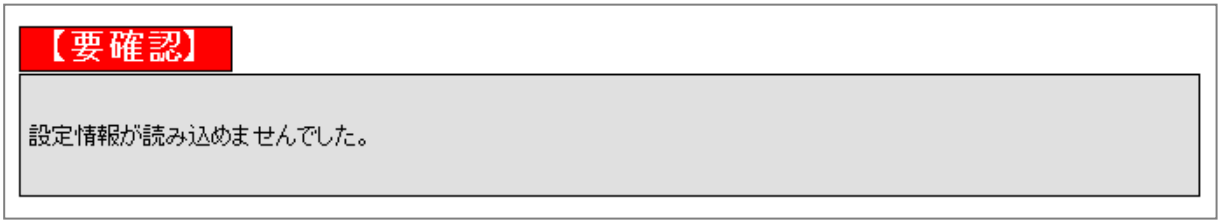
Microsoft Edge をご利用の場合に設定が必要です。

『要確認』の場合、『5.1. Microsoft Edge の設定』に従って設定をしてください。

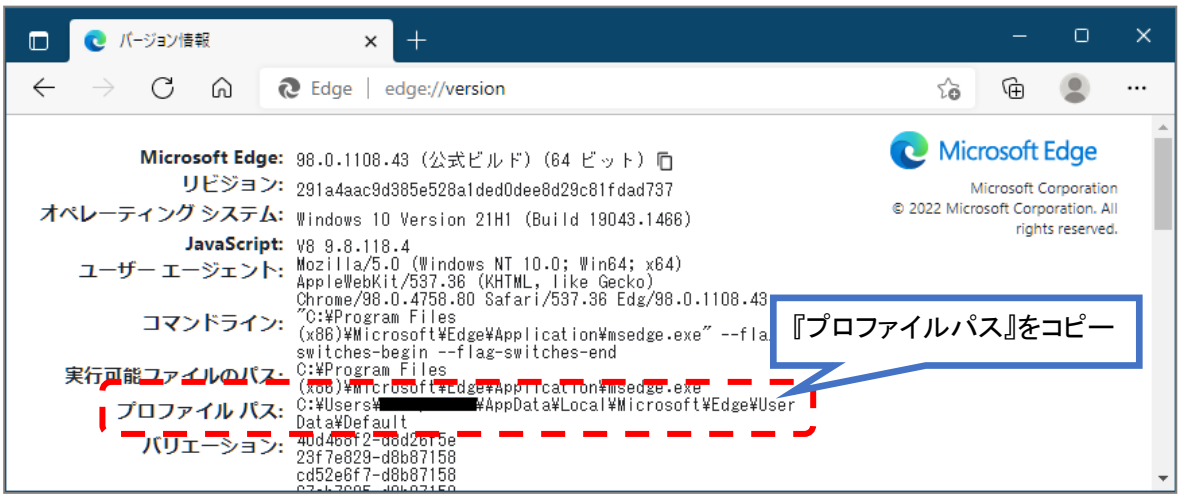


※設定情報が読み込めなかった場合、以下の【要確認】が表示されます。

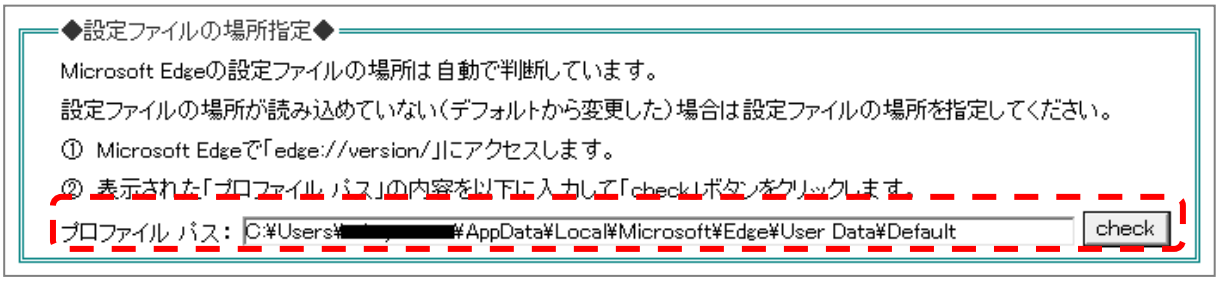
表示された場合は、以降の 1）～ 2）を実施してください。



1）Microsoft Edge で「edge://version/」にアクセスします。



2）表示された「プロファイル　パス」の内容を以下に入力して「check」ボタンをクリックします。

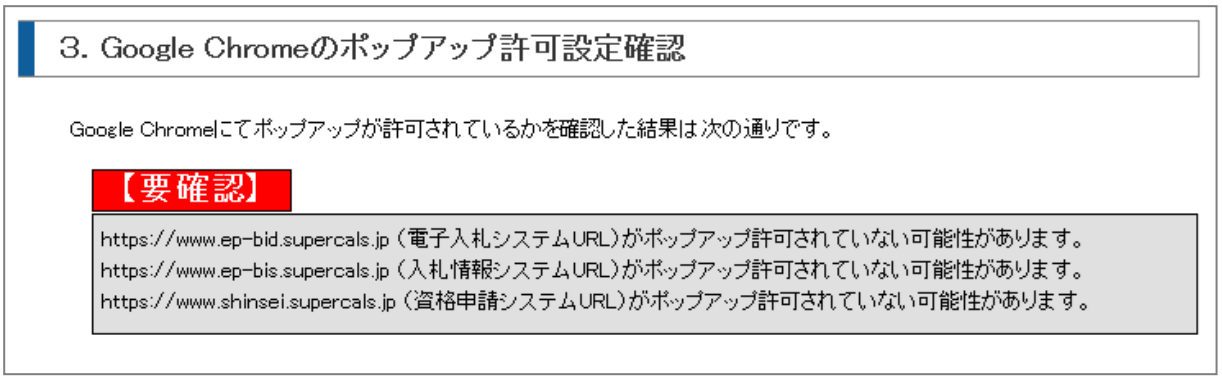


結果が『要確認』の場合、『5.1. Microsoft Edge の設定』に従って設定をしてください。

③ Google Chrome のポップアップ許可設定確認

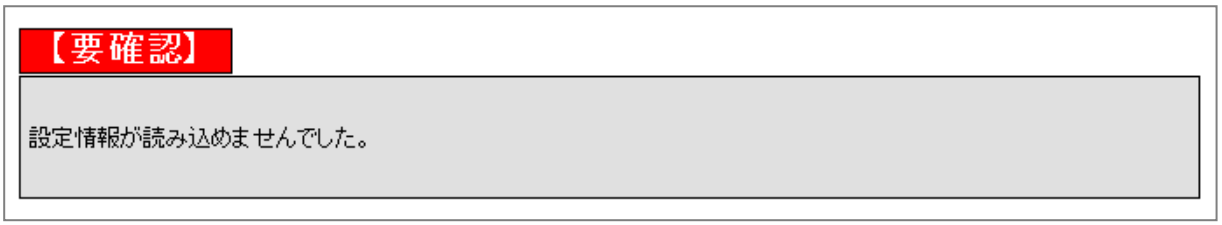
Google Chrome をご利用の場合に設定が必要です。

『要確認』の場合、『5.2. Google Chrome の設定』に従って設定をしてください。

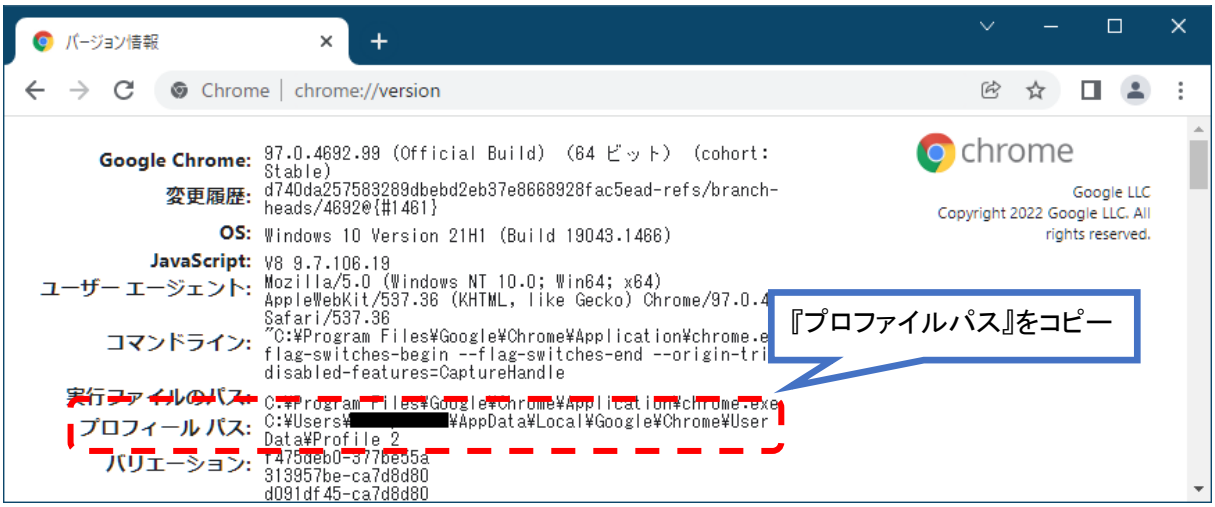


※設定情報が読み込めなかった場合、以下の【要確認】が表示されます。

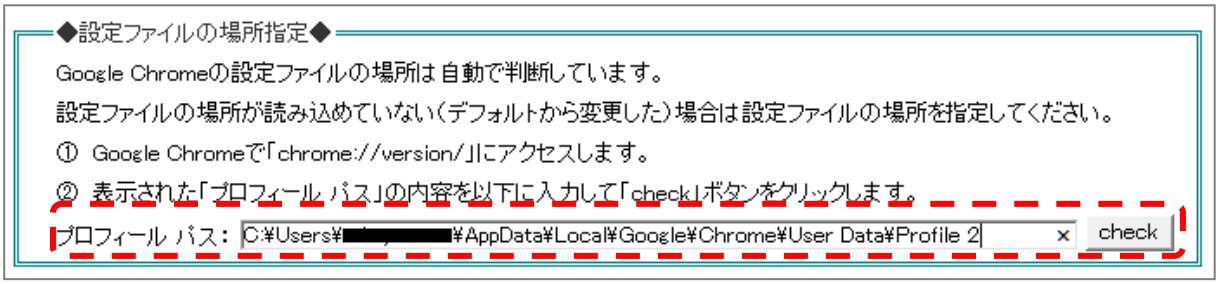
表示された場合は、以降の 1）～ 2）を実施してください。



1）Google Chrome で「chrome://version/」にアクセスします。



2）表示された「プロファイル　パス」の内容を以下に入力して「check」ボタンをクリックします。

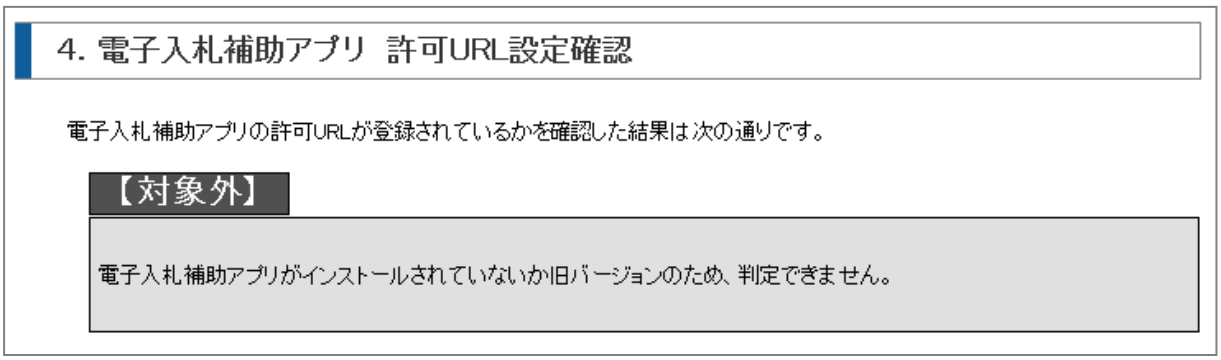


結果が『要確認』の場合、『5.2. Chrome の設定』に従って設定をしてください。

④ 電子入札補助アプリ　許可 URL 設定確認

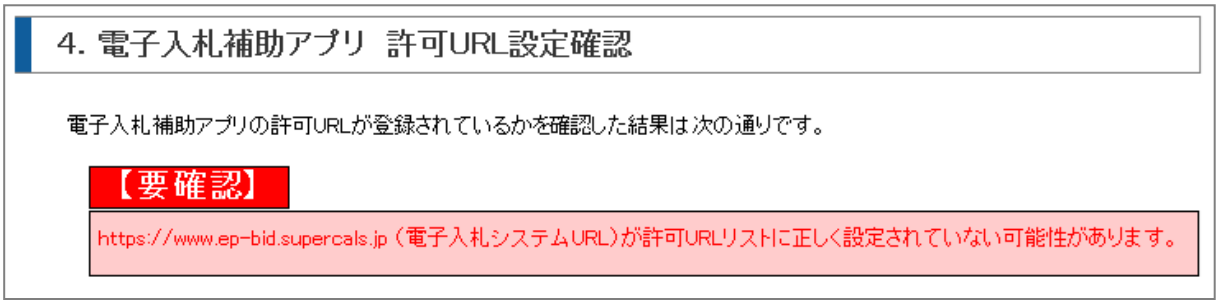
電子入札補助アプリのバージョンが **V1.4.0** 以外は、『対象外』となります。

『6. 電子入札補助アプリのインストール／バージョンアップ』に従ってバージョンアップをしてください。



電子入札補助アプリのバージョンが **V1.4.0** で**許可 URL 設定がされていない**場合、『要確認』となります。

『7. 電子入札補助アプリの設定』に従って許可 URL の設定をしてください。



3.4. 事前検証ツールの再実行

ソフトウェアのインストールや設定を実施した後に、事前検証ツールを再実行し『OK』となることを確認します。

事前検証ツールを再実行する場合、再度『3.2. 事前検証ツールの実行』を行うか、事前検証ツール右上の『再読み込み』ボタンをクリックします。

4. ブラウザのインストール

電子調達システムで利用するブラウザをインストールします。

既に Microsoft Edge 又は Google Chrome がインストールされている(『OK』と表示された)場合、本章はスキップしてください。

4.1. Microsoft Edge のインストール

以下のサイトより Microsoft Edge のインストーラーをダウンロードし、実行してください。

https://www.microsoft.com/ja-jp/edge

インストール完了後に、事前検証ツールを再実行し、『1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認』の『Microsoft Edge』の確認結果が『OK』となっていることを確認してください。

4.2. Google Chrome のインストール

以下のサイトより Google Chrome のインストーラーをダウンロードし、実行してください。

https://www.google.com/intl/ja_jp/chrome/

インストール完了後に、事前検証ツールを再実行し、『1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認』の『Google Chrome』の確認結果が『OK』となっていることを確認してください。

5. ブラウザの設定

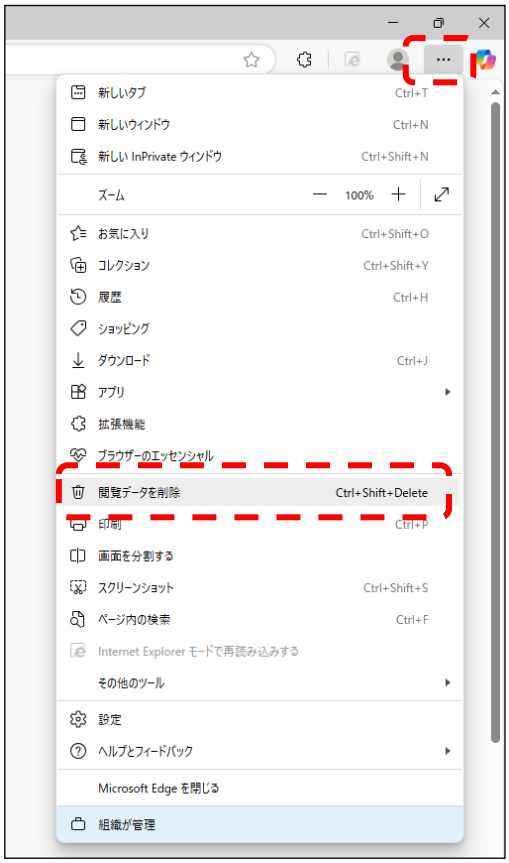
電子調達システムで利用するブラウザの設定を行います。

利用するブラウザ（Edge　又は　Google Chrome）に対して実施ください。

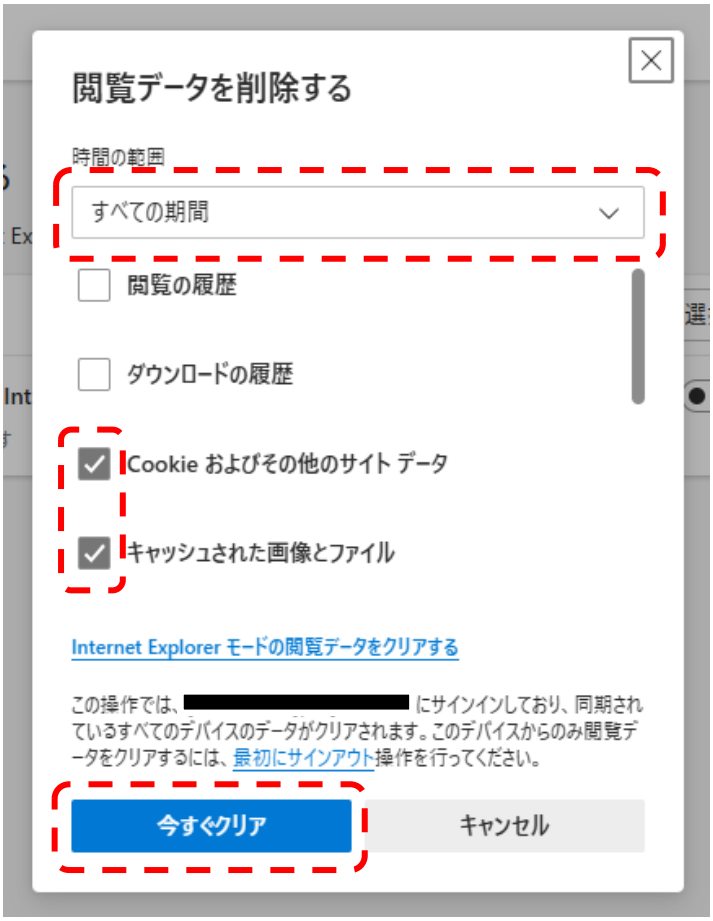
5.1. Microsoft Edge の設定

（1）キャッシュクリア

① Microsoft Edge のウインドウ右上の『×』ボタンのすぐ下にある『…』をクリックし、表示されたメニューの『閲覧データを削除』をクリックします。



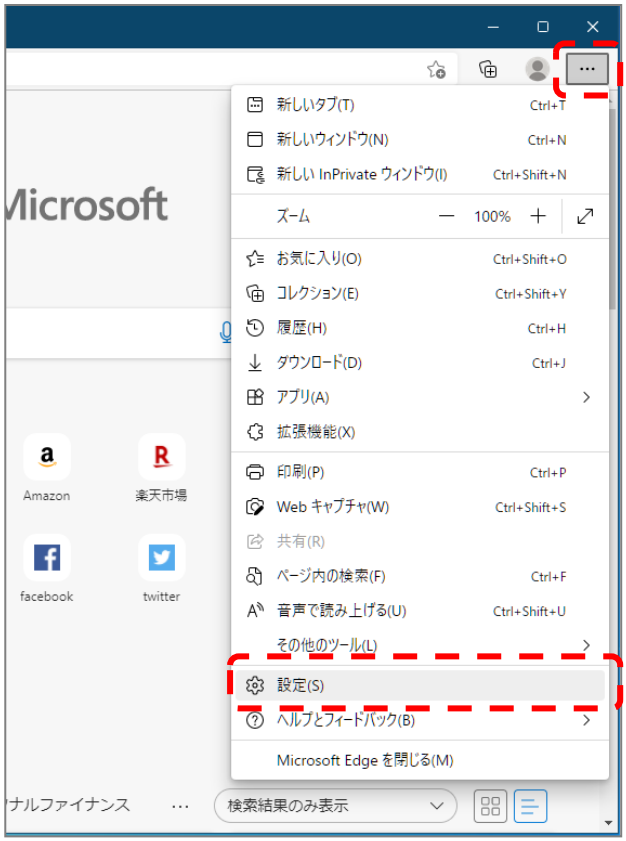
② 時間の範囲は『すべての期間』を選択し、『Cookie およびその他サイトデータ』と『キャッシュされた画像とファイル』のチェックボックスにチェック☑をし、『今すぐクリア』ボタンをクリックします。



以上でキャッシュクリアは完了です。続けて、ポップアップ許可登録を実施ください。

(2) ポップアップ許可登録

① Microsoft Edge のウインドウ右上の『×』ボタンのすぐ下にある『…』をクリックし、表示されたメニューの『設定』をクリックします。

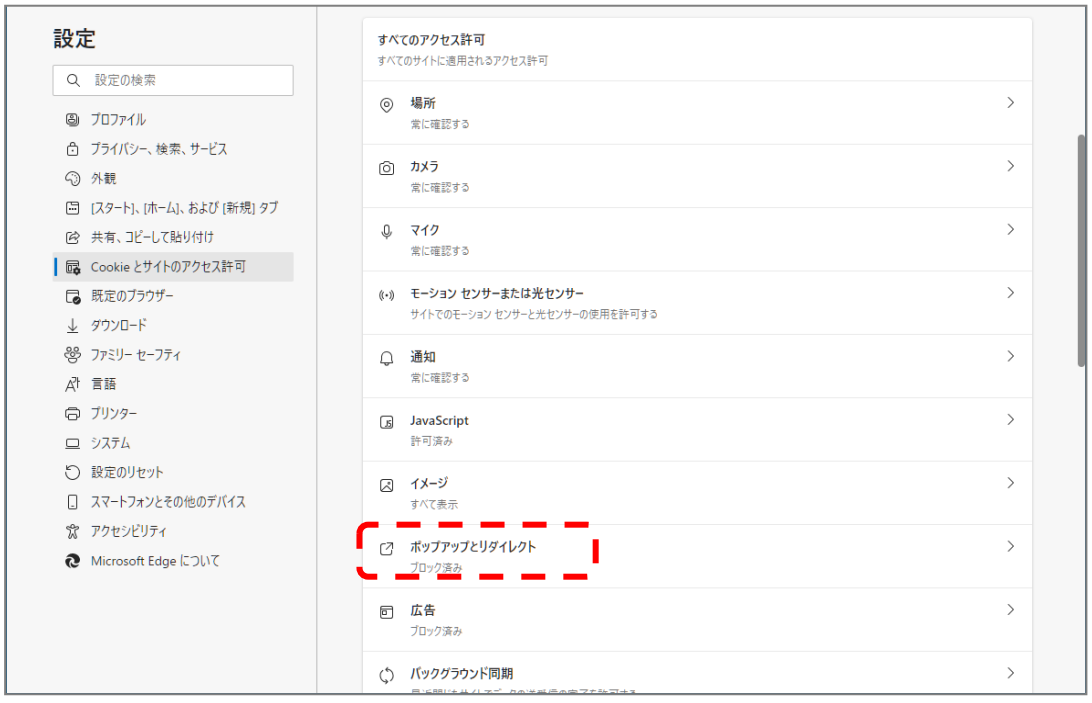


② 画面左側のメニューにある『Cookie とサイトのアクセス許可』をクリックし、『すべてのアクセス許可』をクリックします。

※『Cookie とサイトのアクセス許可』が表示されない場合、手順⑤に進んでください。



③ 表示された画面の『ポップアップとリダイレクト』をクリックします。



④ 『許可』の右にある『追加』をクリックします。

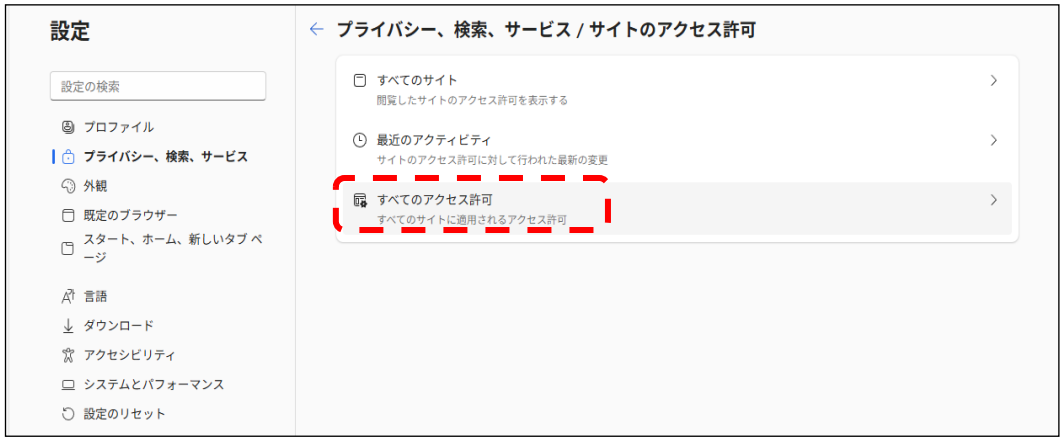
※『追加』クリック後は手順⑨に進んでください。



⑤ 画面左側のメニューにある『プライバシー、検索、サービス』をクリックし、表示された画面の『サイトのアクセス許可』をクリックします。



⑥『すべてのアクセス許可』をクリックします。



⑦『ポップアップとリダイレクト』をクリックします。



⑧『サイトの追加』をクリックします。



⑨ 画面内の入力ボックスに下記表の URL を入力します。入力は 1URL ずつ行い、入力が完了したら『追加』ボタンをクリックします。3 つの URL を登録する必要があるため、この操作を 3 回繰り返してください。

■サイトの追加画面（④のつづき）



■サイトの追加画面（⑧のつづき）



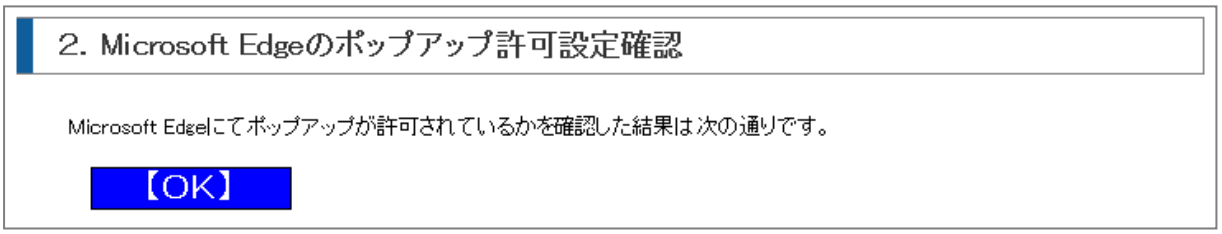
No	URL	説明
1	https://www.ep-bid.supercals.jp	電子入札システム
2	https://www.ep-bis.supercals.jp	入札情報システム
3	https://www.ep-bes.supercals.jp	資格申請システム

⑩ 入力した 3 つの URL が許可一覧に追加されていることを確認します。



以上でポップアップ許可登録は完了です。

最後に、事前検証ツールを再実行し、『2. Microsoft Edge のポップアップ許可設定確認』が『OK』となったことを確認してください。

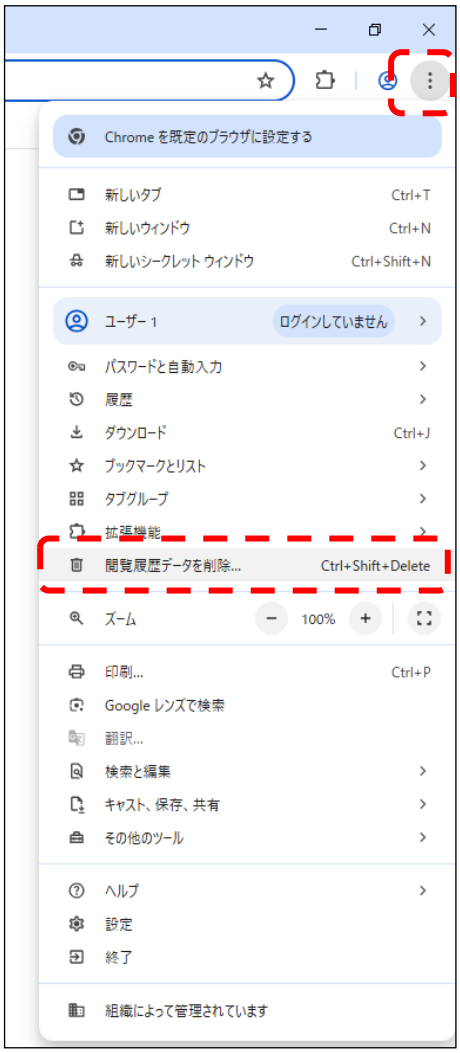


以上で Microsoft Edge の設定は完了です。

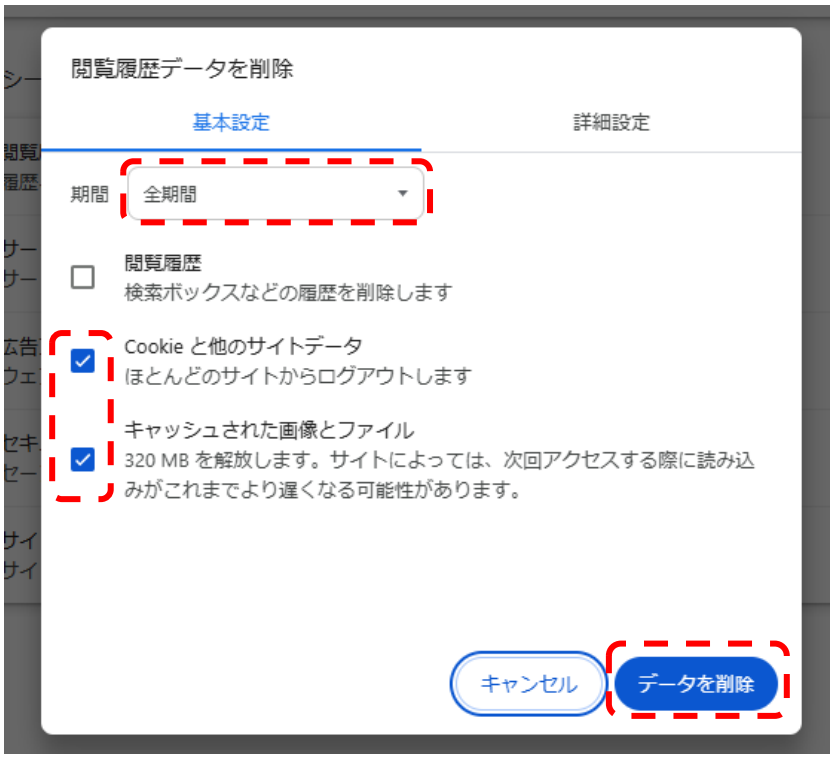
5.2. Google Chrome の設定

（1）キャッシュクリア

① Google Chrome のウインドウ右上の『×』ボタンのすぐ下にある『…』をクリックし、表示されたメニューの『閲覧履歴データを削除...』をクリックします。



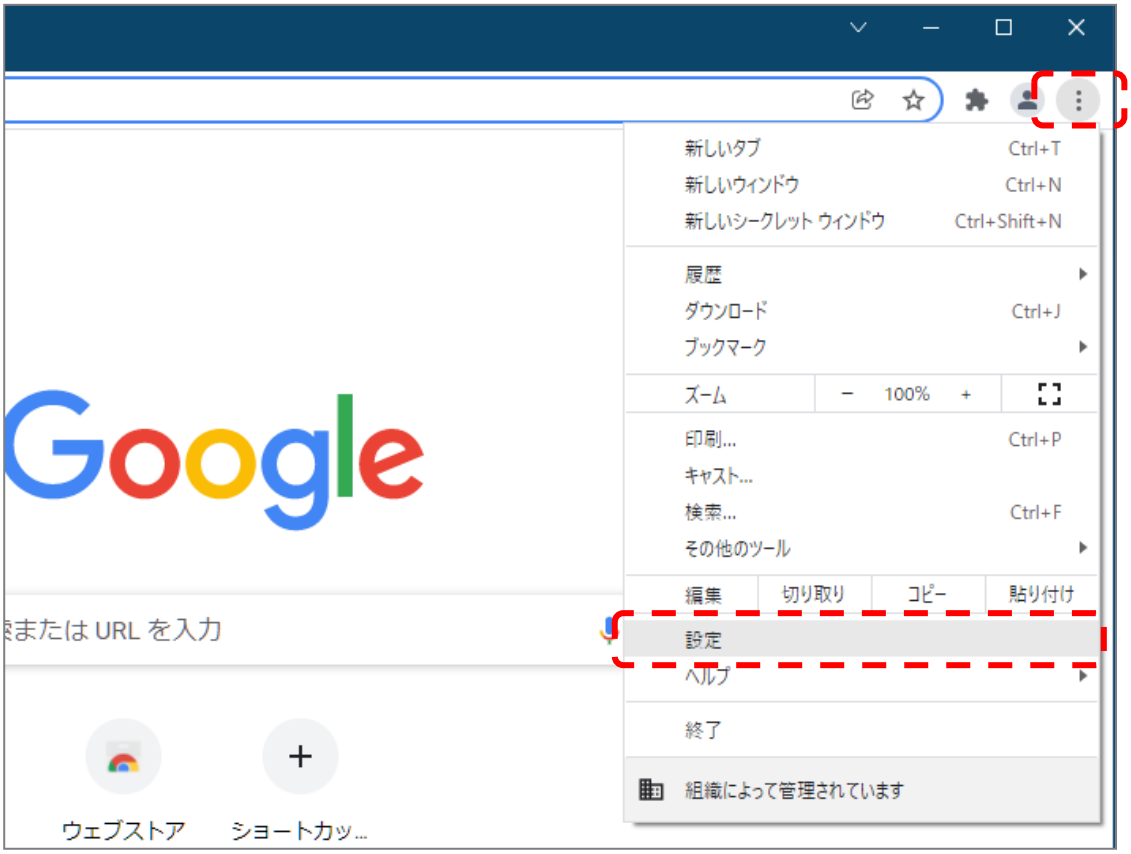
② 期間は『全期間』を選択し、『Cookie と他のサイトデータ』と『キャッシュされた画像とファイル』のチェックボックスにチェック☑をし、『データを削除』ボタンをクリックします。



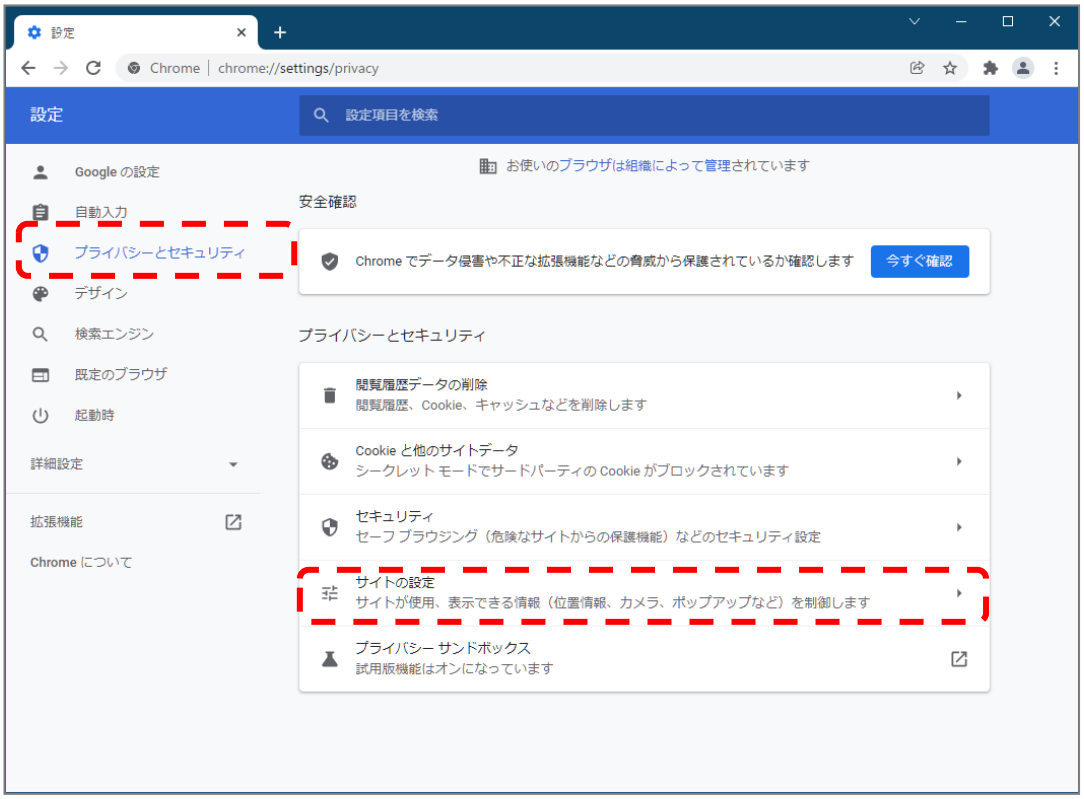
以上でキャッシュクリアは完了です。続けて、ポップアップ許可登録を実施ください。

（2）ポップアップ許可登録

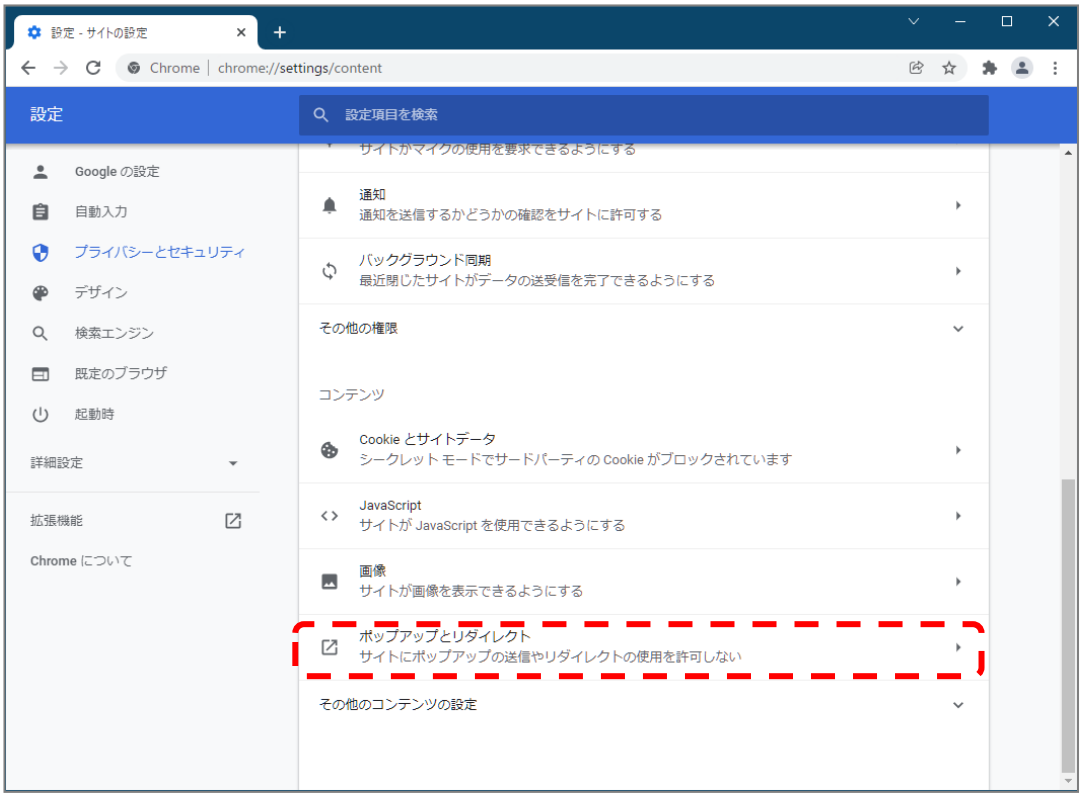
① Google Chrome のウインドウ右上の『×』ボタンのすぐ下にある『…』をクリックし、表示されたメニューの『設定』をクリックします。



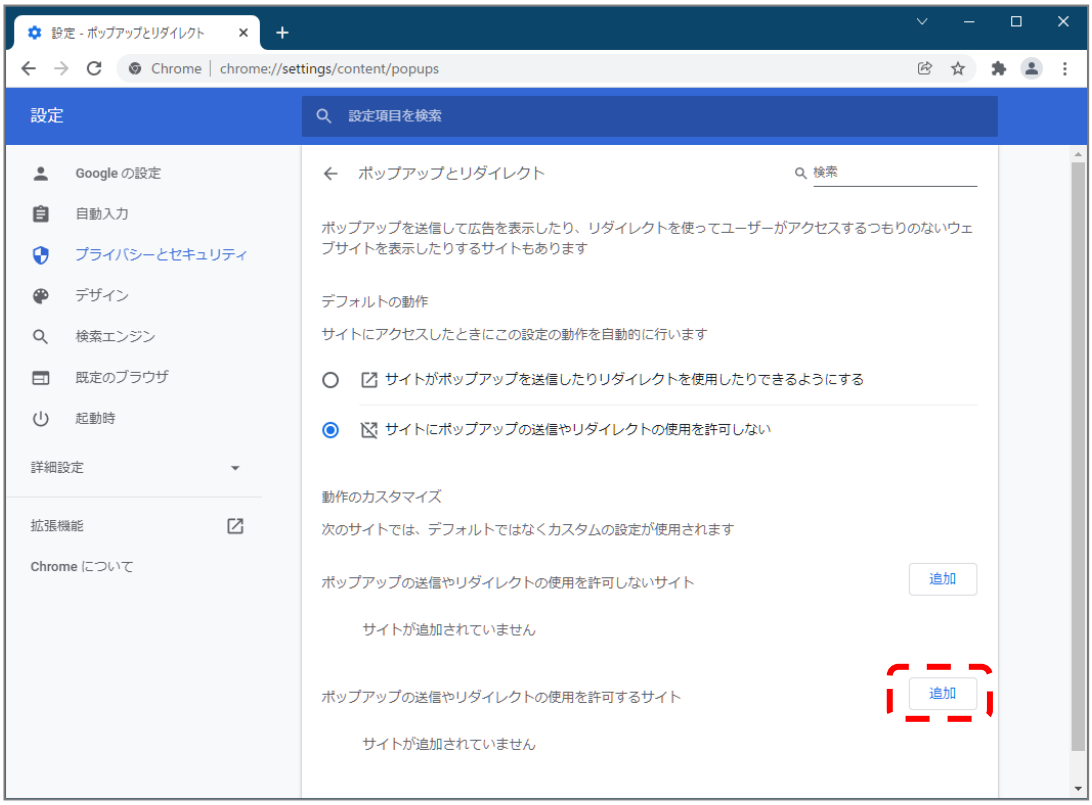
② 画面左側のメニューにある『プライバシーとセキュリティ』をクリックし、表示された画面の『サイトの設定』をクリックします。



③ 表示された画面の下部にある『ポップアップとリダイレクト』をクリックします。



④『ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト』の右にある『追加』をクリックします。

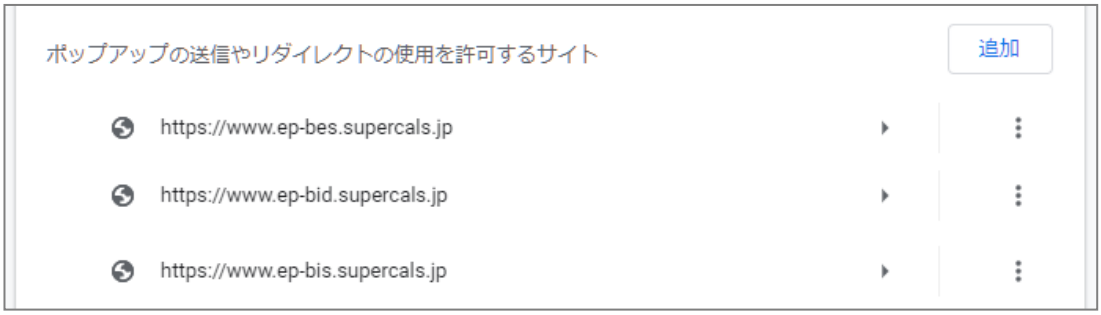


⑤ 画面内の入力ボックスに下記表の URL を入力します。入力は 1URL ずつ行い、入力が完了したら『追加』ボタンをクリックします。3 つの URL を登録する必要があるため、この操作を 3 回繰り返してください。



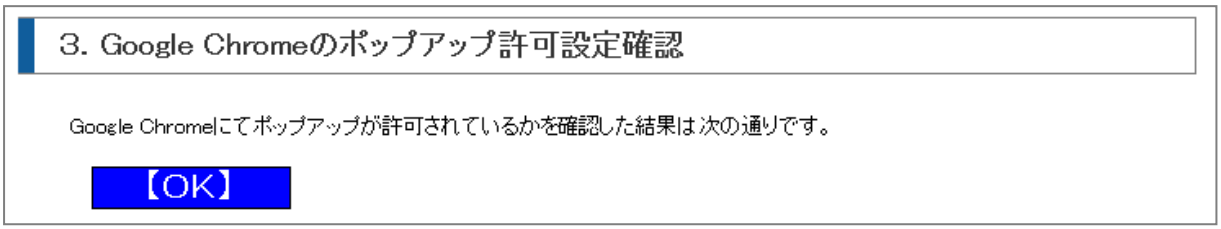
No	URL	説明
1	https://www.ep-bid.supercals.jp	電子入札システム
2	https://www.ep-bis.supercals.jp	入札情報システム
3	https://www.ep-bes.supercals.jp	資格申請システム

⑥ 入力した 3 つの URL が許可一覧に追加されていることを確認します。



以上でポップアップ許可登録は完了です。

最後に、事前検証ツールを再実行し、『3. Google Chrome のポップアップ許可設定確認』が『OK』となったことを確認してください。



以上で Google Chrome の設定は完了です。

6. 電子入札補助アプリのインストール／バージョンアップ

電子入札補助アプリのインストールを行います。
また、事前検証ツールにてバージョンが V1.3.0 以前の場合、バージョンアップを行います。
既に V1.4.0 のバージョンがインストールされている場合、本章はスキップしてください。

電子入札補助アプリは、ご利用されている民間認証局より入手してください。
連絡先等は以下の「コアシステム対応認証局お問い合わせ先一覧」をご確認ください。

・一般財団法人日本建設情報総合センター「コアシステム対応認証局お問い合わせ先一覧」
・https://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html

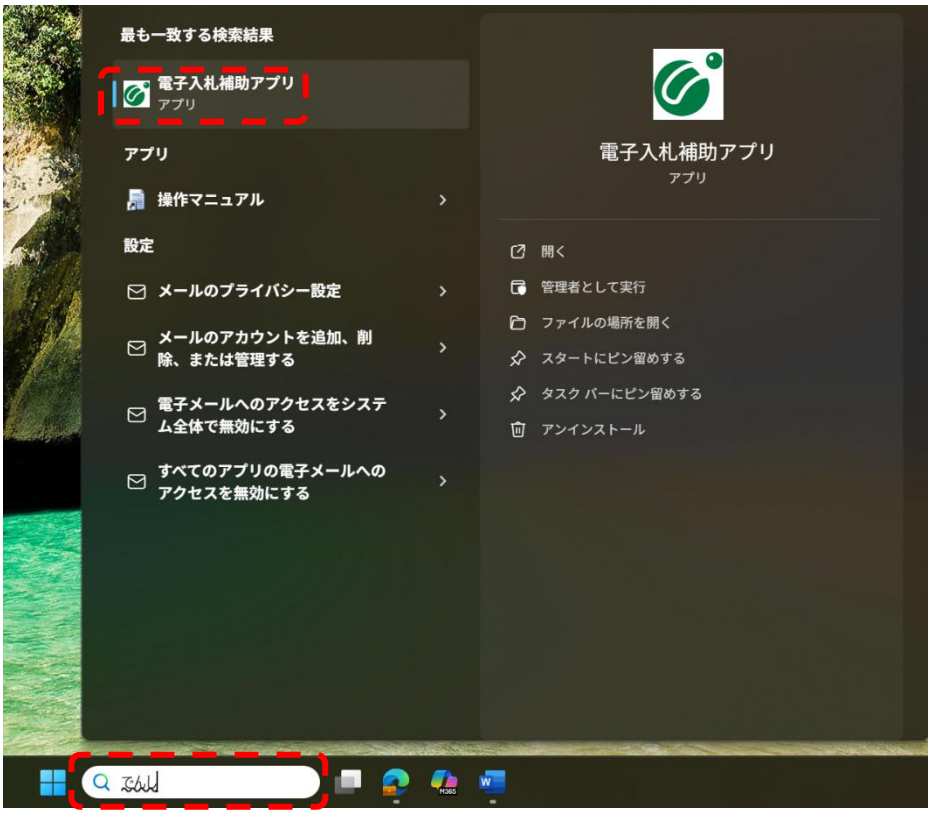
入手後は、アプリ付属の手順書に沿ってインストールまたはバージョンアップ作業を実施ください。

バージョンアップ完了後に、事前検証ツールを再実行し、『1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認』の『電子入札補助アプリ』のバージョンが V1.4.0 となっていることを確認してください。

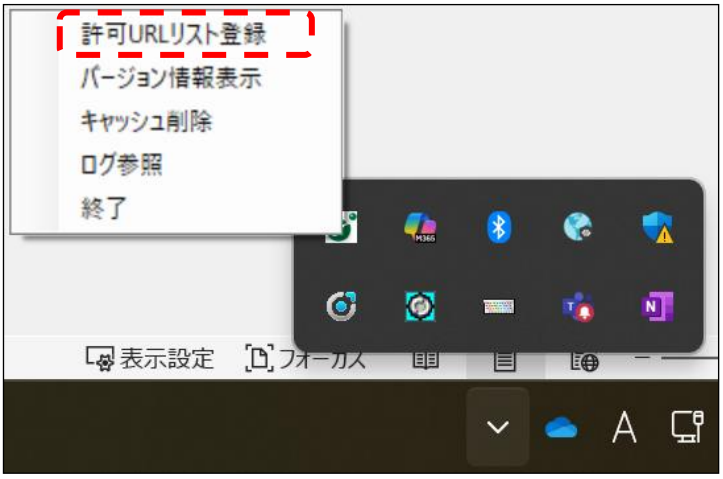
7. 電子入札補助アプリの設定

電子入札補助アプリの許可 URL リストの設定を行います。
許可 URL は事前検証ツールで『要確認』となった URL を追加登録します。

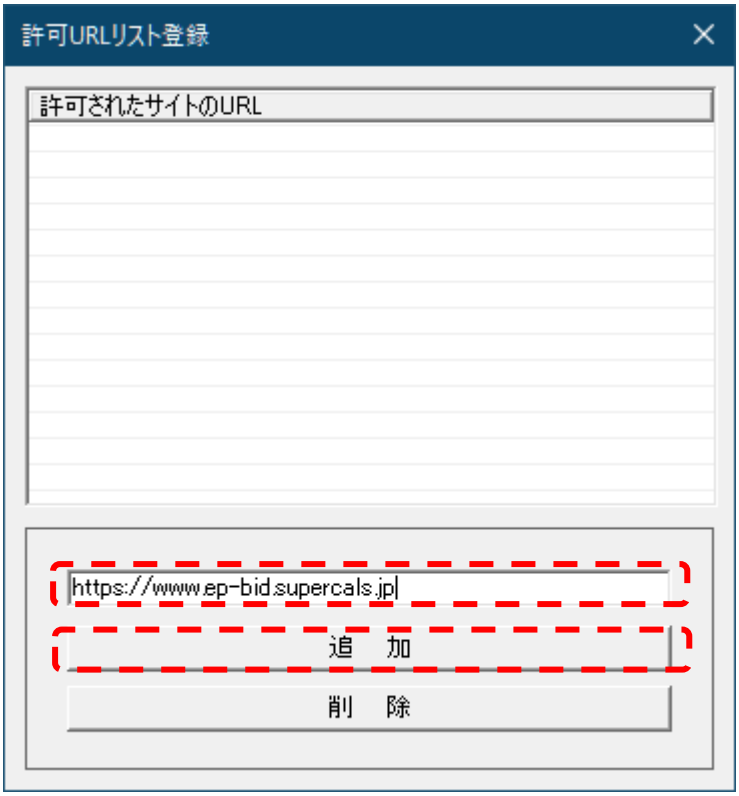
① 電子入札補助アプリを起動します。以下操作は起動方法の一例です。
例） タスクバーの検索ボックスにアプリ名の一部を入力します。（例：でんし）
表示されたアプリケーション一覧から『電子入札補助アプリ』をクリックします。



② 右下のタスクトレイの電子入札補助アプリアイコンを右クリックし、電子入札補助アプリのメニューを表示させ、『許可 URL リスト登録』をクリックします。



③ 『許可 URL リスト登録』画面の中央にあるテキスト入力エリアに URL を入力します。
入力が完了したら『追加』ボタンをクリックします。

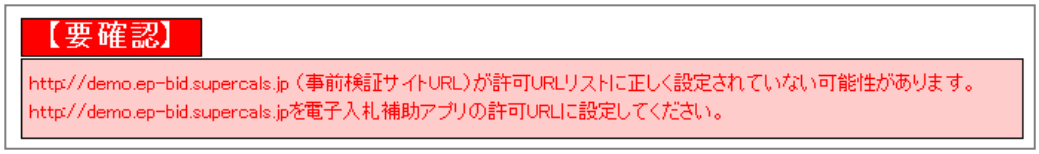


以下、表の URL 追加が必要です。

事前検証ツールで『要確認』と表示された URL を追加してください。

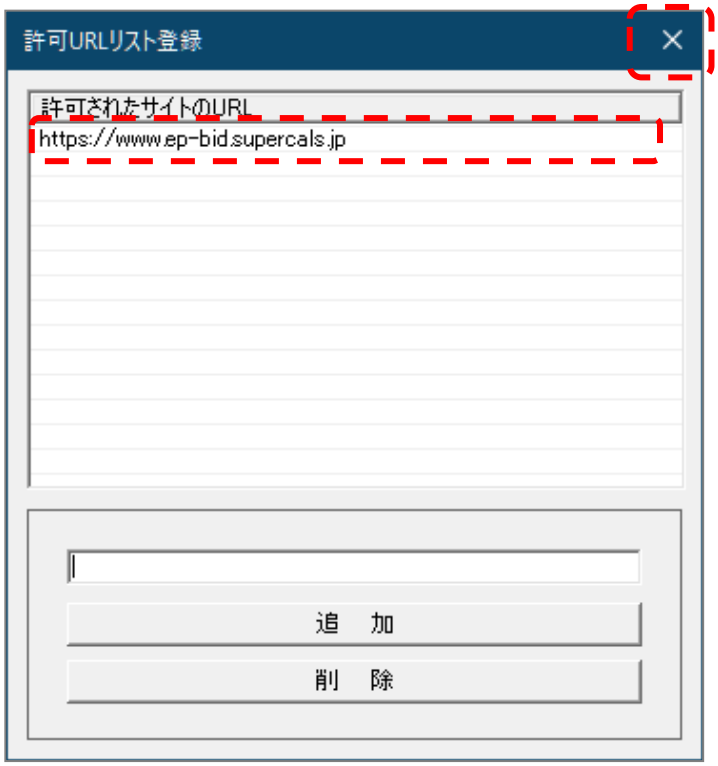
No	URL	説明
1	https://www.ep-bid.supercals.jp	電子入札システム

例） 許可 URL に登録されていない場合の事前検証ツールの表示

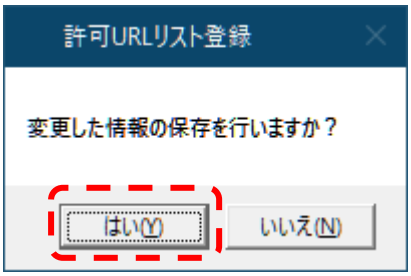


④ URL が一覧に表示されていることを確認します。

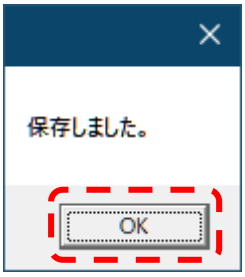
問題なければ設定の保存のために、右上の『×』ボタンをクリックします。



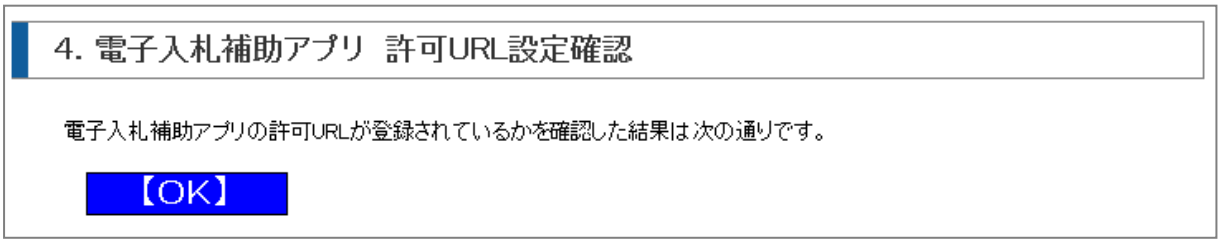
⑤『はい(Y)』をクリックし、設定を保存します。



⑥『OK』をクリックし、設定を完了します。



最後に、事前検証ツールを再実行し、『4. 電子入札補助アプリ　許可 URL 設定確認』が『OK』となったことを確認してください。



以上で電子入札補助アプリの設定は完了です。